



教えて！
教育長さん

もっと！ESD！！

～子どもたちの未来のために

「持続可能な社会」を～ 10

ESDに取り組む各学校の紹介をします。
今回は大島中学校です。



ホタテ養殖体験

大島中学校



- 生徒数 30名 (4月1日現在)
- 学級数 3学級

気仙沼湾に浮かぶ大島は、昔から海と関わり、海からの恩恵を受け、海とともに生きてきました。そんな大島において、本校では地域に根ざし、地域の教育素材と人材を生かした海洋教育に取り組んでいます。総合的な学習の時間を中心にESDに取り組み、「30年後の大島に伝えよう」と大島の良さを未来に伝えるために、今の自分にできることを考えよう」というテーマのもと、体験活動や調査活動などを計画的に展開し、課題の発見とその解決に向けた取り組みを実践しています。主な活動内容について紹介します。

海洋教育

ホタテ養殖体験、ホタテ調理体験では、大島漁協青年部のご助言をいただきながら、海に設置した筏でホタテの養殖体験を行っています。小学6年生で稚貝を採苗し、中学3年生まで継続して活動しています。1



ホタテ調理体験

学年では耳吊り(ホタテの稚貝に穴を空け養殖筏に吊す)、2学年では背ばたき(ホタテに付いた異物を除去し水揚げする)、3学年ではホタテを使った料理を考え、保護者と共に調理します。

漂着物調査では、気仙沼海上保安署や気仙沼市役所の方々のご指導の下、プラスチックごみなどの漂着物を集めその種類の調査を行います。自分たちの住んでいる地域の浜を清掃することにやり、地域の美しい自然を大切にすることを学んでいます。今年度は、鹿折中学校の1年生の皆さんにも参加していただきました。



小田の浜漂着物調査

権練り体験では、地域の方を講師とし、4艇ほどの船に生徒が分かれて乗船し、1本の櫂のみで船を動かす体験や箱メガネで海底を見る等の体験をします。

探究活動(島セミ)

海洋講話や養殖体験などをきっかけにし、さまざまな視点から大島についての探究課題を個々に見付け、その解決方法を考えて調査活動や実験を行います。計画的に活動する力を高め、

活動を通して学んだことと、身に付けたことをレポートにまとめて文化祭や海洋教育サミットなどで発表し、地域にも発信しています。



探究活動(島セミ)発表会

防災学習

防災を考える日の活動の中で、地震や津波、大雨など想定されるさまざまな災害対策や、登下校など日常における安全確保について考える学習を行います。適切に判断し、行動する力を高めることで自分自身や地域の安全を守る方法を考えます。今年度は地域への発信を考えています。

表現活動

ソーラン演舞では、工夫を凝らした演舞を企画し、運動会などで披露します。7月には鹿折中学校の合唱コンクールでも披露させていただきました。全校演劇では、役者はもちろん、台本や衣装、小道具などの作成を生徒



ソーラン演舞(運動会)

生き方活動

が行い、文化祭での発表を目指します。一人一人の個性や責任感が生かされる活動です。



海洋ごみをテーマに全校演劇(文化祭)

職場体験学習や就職ガイダンス、修学旅行の自主研修や施設訪問を通して、自分の進路を考えるきっかけをつくり、自己の将来について真剣に考えています。働くことの意義を見だし、社会人として必要な基本的な知識を理解するための活動です。

大島中学校では、自分たちの住む地域(大島)という視点に立って活動を行っています。活動を深めていく中で、自分たちの住む地域がさまざまな地域や人とつながっていることに気付き、グローバルな視点へと視野が広がるきっかけとなっています。さまざまな活動を通して、地域のみならず地球の将来のためにどのような行動が必要なのかということを考え、よりよい未来のために行動しようとする生徒が増えていきます。